



引き取り訓練へのご協力、 ありがとうございました。

今年初めての猛暑日となった27日（月）は、肌に刺さるような日差しの中でしたが、引き取り訓練にご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。このような訓練は、大きな災害が起きなければ、その必要性を感じないかもしれません。しかし、地震が国内のあちらこちらで起きている以上は、「山梨県でも大きな地震が来るかもしれない。」という気持ち、危機感は日頃から持っていたいものです。家にある避難袋の確認や有事の際の避難について話し合っておきましょう。



児童総会で決定！！今年度の児童会活動めあて 「北っ子 やる気 申斐市一！」



24日（金）に3年生以上による今年度の児童総会が行われました。児童会のめあてとして、「北っ子 やる気 申斐市一！」が決定しました。これは、甲斐市内11小学校の中でも一番のよりよい小学校をめざしていることとする大変積極的なめあてです。具体的によりよい学校とは、次の4つです。

- ① あいさつが大きな声で言える学校
- ② ろうかを静かに歩く学校
- ③ 思いやりのある言葉をかけたり行動ができたりする学校
- ④ 全校のみんなが仲の良い学校

これらは、ちょうど私も北小の子どもたちに更に良くなってほしいなと思っていたことでした。体育館での話し合いでは、各学級で話し合ってきたことをもとにして、意見が交わされました。ただ単に本部の提案に賛成ではなく、具体的な活

動の部分では、4・5年生から修正案も出されて、再度各学級で話し合う場面もありました。年度末の児童総会では、「4つの目標に近づけました。」と全員が言えることを期待しています。



本部の明快な答弁



議長によるスムーズな進行



学級の意見発表



学級での話し合い

縦割り班活動スタート！

子どもたちが楽しみにしていた縦割り班活動がスタートしました。どの班も6年生を中心に和気あいあいと良い雰囲気でした。これからも学年の枠をこえて楽しめる時間になりそうです。



ドッジボール



震源地



ハンカチ落とし

朝日写真ニュース

フォーカス（株）様より朝日写真ニュースの掲示板の寄贈がありました。毎週、写真をメインにした4枚のニュースが送られてきます。その都度掲示板に掲示して子どもたちに見てもらい、社会勉強の一つとして利用させていただいております。



庁務員さんの仕事

子どもたちとの直接的な関わりは少ないですが、熊谷さんも島田さんも給食準備と環境整備を中心に子どもたちや来校者のために、日々奮闘してくれています。牛乳やデザートの学級人数分の仕分け、給食ワゴンの3台同時の運搬、玄関清掃、除草作業等、本当にありがたいことです。



ちょっといい話

年度初めの話になりますが、2年生のある女の子が「図工の時間にねん土で校長先生の顔を作りました。」と言って見せてくれました。本物よりかなり若く、小顔に作ってくれたので、照れくさかったですが、とても嬉しかったです。ありがとう。



次の話は、ぜひ親子で読んでみてください。スッと心が楽になると思います。



動物と人間

～息絶えたうさぎから思うこと～

16日（木）のことでした。朝は元気だった1羽のうさぎが昼休みには息絶えていました。外傷はなかったので、老衰かもしれません。担当の清水先生と飼育栽培委員会の子もたちで、大好物のキャベツを添えて土に埋め、最後のお別れをしました。

その時私は、昔見たテレビ番組の話を思い出しました。動物はけがをしたり病気になったりすると、そのことを隠そうとするのだそうです。動物も癌などのような、人間と同じ病気にかかるそうですが、病気が重くなっても具合が悪そうにしたり、痛くて泣いたりすることはないのだそうです。その上、言葉がないので、獣医さんはどこがどのように悪いのかを見つけるのが大変だそうです。

動物は我慢強いからなのでしょう。それとも痛みが鈍感なのでしょう。実は動物は、けがや病気で弱っていることを相手に知られると、相手に襲われたり、食べられたりしまったりするそうです。ですから、弱っていることを隠しますし、年老いて弱ってくると誰にも見つからないところに行き、ひっそりと隠れて亡くなることが多いそうです。実際、この日に亡くなったうさぎも小屋の中の物陰に倒れていたもので、6年生の男子が既に硬直しているうさぎを取り出してくれました。

では、人間はどうでしょうか。足のけがをした人を見たら襲いますか。病気で弱っている人をいじめますか。人間は、身体の弱ったお年寄りのことは労りますし、誰かがけがをしていたら何とかして助けてあげます。どんなに小さい子でも（小学生なら当然）、けがをした人や病気で具合の悪い人を労ろうとします。転んでけがをしている人がいたら、保健室に連れて行ってあげたり、先生を呼びに行ったりします。だから、具合の悪い人も隠したりしません。みんな親切にしてくれるからです。

動物と人間の大きな違いの1つはここにあると思います。私たち人間は、弱っている人、困っている人、弱い立場の人を何とかして助けようとしています。それは、思いやりの心を持っている人間だからです。反対に、自分が困っているときや具合の悪いときは、遠慮せずに周りの友だちや先生に伝えましょう。みんな思いやりの心を持った人間ですから、きっと力を貸してくれます。

お知らせ 1年生担任の斎藤史子（さいとうふみこ）教諭が来月、結婚します。つきましては、来週から名字が替わり、藤原史子（ふじはらふみこ）教諭になります。

